

# 「高等学校 精選言語文化」シラバス

科目	言語文化	単位	2	学年	1		
使用教科書	高等学校 精選言語文化(第一学習社)			副教材等	精選言語文化 学習課題集(第一学習社) 精選言語文化 古典本文ノート(第一学習社)		

<b>学習の到達目標</b>	<p>言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1) 生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。</p> <p>(2) 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。</p> <p>(3) 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。</p>
----------------	--

評価の観点		
a. 知識・技能	b. 思考・判断・表現	c. 主体的に学習に取り組む態度
生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けているとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めている。	「書くこと」、「読むこと」の各領域において、論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。	言葉を通して積極的に他者や社会に関わったり、ものの見方、感じ方、考え方を深めたりしながら、言葉がもつ価値への認識を深めようとしているとともに、読書に親しむことで自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもとめている。

職	学習項目	学習内容及び評価の観点	a			b			c			評価方法
			○	○	○	○	○	○	○	○	○	
1	古文の学習	<ul style="list-style-type: none"> <li>我が国の言語文化についての理解を深めるために、古典の世界に親しむことの意義を知る。</li> <li>これからの学習に見通しをもって、我が国の言語文化に興味・関心を深め、それを継承していくことについて強く自覚をもとめている。</li> </ul>			○			○			○	授業態度 発問評価 リフレクションシート
6	児のそら寝 古文を読むために1	<ul style="list-style-type: none"> <li>古典の文章に慣れるとともに、現代に通じる話のおもしろさや人間描写の巧みさを知る。</li> <li>説話という文章の種類を踏まえて、内容や展開を的確に捉える。</li> <li>作品に表れているものの見方や考え方を捉え、内容を解釈する。</li> <li>語句の量を増やし、語彙を豊かにする。</li> <li>主として歴史的仮名遣いや古今異義語について、文語のきまりを理解する。</li> <li>積極的に説話を読み味わい、互いに話のおもしろさを伝え合おうとしている。</li> <li>時間の経過による言葉の意味の変化を理解し、学習の見通しをもって調べたり説明したりしようとしている。</li> </ul>			○			○			○	授業態度 発問評価 指名音読 発表・報告 学習課題集の提出 定期考査 リフレクションシート ポートフォリオ
1	古文を読むために2	<ul style="list-style-type: none"> <li>主として品詞の種類について、文語のきまりを理解する。</li> <li>文の構成単位を理解し、学習の見通しをもって、文を文節や単語に分けようとしている。</li> </ul>			○			○			○	授業態度 定期考査 ポートフォリオ
1	鶯のうへ(三好達治)	<ul style="list-style-type: none"> <li>文語で書かれた詩のリズムや表記の特徴を理解し、作品にこめられた作者の心情を捉える。</li> <li>情景にこめられた孤独感など、作品に表れているものの見方や考え方を捉え、内容を解釈する。</li> <li>繰り返し音読し、積極的に詩のリズムを理解しようとしている。</li> <li>描かれた情景を読み取り、進んで作者の心情について話し合おうとしている。</li> </ul>			○			○			○	授業態度 発問評価 指名音読 話し合い 学習課題集の提出 定期考査 リフレクションシート ポートフォリオ
1	一つのメルヘン(中原中也)	<ul style="list-style-type: none"> <li>詩独特の表現方法や構成などを理解し、作品に託されたメッセージを読み取る。</li> <li>象徴的な表現を読み解き、作品に表れているものの見方や考え方を捉え、内容を解釈する。</li> <li>繰り返し音読し、積極的に詩のリズムを理解しようとしている。</li> <li>象徴的な表現を読み取り、進んで作品世界を理解しようとしている。</li> </ul>			○			○			○	授業態度 発問評価 指名音読 学習課題集の提出 定期考査 リフレクションシート ポートフォリオ

級	学習項目	学習内容及び評価の観点	a	b	c	評価方法
2	自分の感受性く らい（茨木のり 子）	<ul style="list-style-type: none"> <li>現代詩の鑑賞のしかたを理解し、作品にこめられた作者の批判精神を読み取る。</li> <li>「～のせいにはするな」という繰り返しを読み解き、作品に表れているものの見方や考え方を捉え、内容を解釈する。</li> <li>繰り返し音読し、積極的に詩のリズムを理解しようとしている。</li> <li>作者の批判精神を自身に引き付けて受け止め、考えたことを積極的に話し合おうとしている。</li> </ul>		○		授業態度 発問評価 指名音読 話し合い 学習課題集の提出 定期考査 リフレクションシート ポートフォリオ
2	I was born（吉野弘）	<ul style="list-style-type: none"> <li>散文詩に親しみ、「I was born」という言葉がどのようなイメージで捉えられているかを読み取る。</li> <li>「僕」「父」の心情など、作品に表れているものの見方や考え方を捉え、内容を解釈する。</li> <li>繰り返し音読し、積極的に詩のリズムを理解しようとしている。</li> <li>「僕」の理解したイメージを自分事として共有し、考えたことを積極的に話し合おうとしている。</li> </ul>		○		授業態度 発問評価 指名音読 話し合い 学習課題集の提出 定期考査 リフレクションシート ポートフォリオ
3	訓読に親しむ 漢文を読むために	<ul style="list-style-type: none"> <li>漢文を訓読するための基礎知識として、返り点の種類と使い方を習得する。</li> <li>漢文を訓読するための基礎知識として、助字のはたらきと意味を習得する。</li> <li>漢文を訓読するための基礎知識として、再読文字の種類と読み方を習得する。</li> <li>故事成語や格言に多く触れることにより、語句の量を増やし、語彙を豊かにする。</li> <li>我が国の文化と外国の文化との関係について理解する。</li> <li>訓読のきまりを理解する。</li> <li>これからの学習に見通しをもって、漢文訓読の基礎知識を積極的に身につけようとしている。</li> <li>日常的に使う故事成語や格言の量を積極的に増やし、漢文が我が国の言語文化と不可分の関係にあることを理解しようとしている。</li> </ul>	○			授業態度 発問評価 指名音読 学習課題集の提出 定期考査 リフレクションシート
3	漁父之利 狐借虎威 蛇足	<ul style="list-style-type: none"> <li>漢文の訓読に慣れるとともに、現在使われている言葉が漢文に由来することを知る。</li> <li>文章の種類を踏まえて、たとえ話を読み解き、内容や展開を的確に捉える。</li> <li>作品に表れているものの見方や考え方を捉え、内容を解釈する。</li> <li>作品の歴史的・文化的背景を理解する。</li> <li>訓読のきまりを理解する。</li> <li>故事成語の由来となった話を読み、古典の言葉と現代の言葉とのつながりについて理解する。</li> <li>故事成語の由来となった話を積極的に読み、わかった内容を工夫してまとめようとしている。</li> </ul>	○			授業態度 発問評価 指名音読 学習課題集の提出 成果物の提出 定期考査 リフレクションシート ポートフォリオ
1	〔言語活動〕 故 事成語の由来と 意味を調べる 〔歴史の窓〕	<ul style="list-style-type: none"> <li>課題に応じて調査する。</li> <li>故事成語の由来を調べ、古典の言葉と現代の言葉とのつながりについて理解する。</li> <li>故事成語の由来と意味を積極的に調べ、調べた内容を工夫してまとめようとしている。</li> </ul>	○	○		授業態度 発問評価 調査とまとめ 成果物の提出 リフレクションシート
11	枕草子 古文を読むために 4 〔歴史の窓〕	<ul style="list-style-type: none"> <li>自由に記述された随筆を読んで、当時の人々の生活感覚や興味の対象を知り、ものの見方・考え方を理解する。</li> <li>自由な文体の随筆という文章の種類を踏まえて、内容や展開を的確に捉える。</li> <li>作品に表れているものの見方や考え方を捉え、内容を解釈する。</li> <li>「九月ばかり」では課題に応じて調査する。</li> <li>語句の量を増やし、語彙を豊かにする。</li> <li>「歴史の窓」と読み合わせて、作品の歴史的・文化的背景を理解する。</li> <li>主として助動詞について、文語のきまりを理解する。</li> <li>「はしたなきもの」では時間の経過による言葉の変化について理解する。</li> <li>学習の見通しをもって随筆のさまざまな文体や取り上げられた対象に触れ、進んで解釈を深めようとしている。</li> <li>作品に表れたものの見方・考え方や美意識を積極的に理解し、学習課題に沿って自分の考えを伝え合おうとしている。</li> </ul>		○		授業態度 発問評価 指名音読 発表・報告 学習課題集の提出 定期考査 リフレクションシート ポートフォリオ

級	学習項目	学習内容及び評価の観点	a	b	c	評価方法
4	完璧	<ul style="list-style-type: none"> <li>史伝の舞台となる時代背景を知るとともに、作中に描かれた藺相如の考えや人物像を読み取る。</li> <li>史伝という文章の種類を踏まえて、内容や展開を的確に捉える。</li> <li>作品に表れているものの見方や考え方を捉え、内容を解釈する。</li> <li>「滎池の会」と読み比べ、課題に応じて調査する。</li> <li>訓読のきまりを理解する。</li> <li>「完璧」の由来を知り、古典の言葉と現代の言葉とのつながりについて理解する。</li> <li>積極的に史伝を読み、藺相如の考え方や人物像を説明しようとしている。</li> <li>藺相如の登場する別の話と粘り強く読み比べ、表された人物像の相違点をまとめようとしている。</li> </ul>	○	○	○	授業態度 発問評価 指名音読 調査とまとめ 学習課題集の提出 定期考査 リフレクションシート ポートフォリオ
1	その子二十	<ul style="list-style-type: none"> <li>我が国の伝統文化の一つである短歌の鑑賞のしかたを理解し、近代を代表する歌人の作品を味わう。</li> <li>作品に表れているものの見方や考え方を捉え、内容を解釈する。</li> <li>我が国の言語文化に特徴的な、短歌の表現の技法とその効果について理解する。</li> <li>短歌の形式や表現を進んで理解し、学習の見通しをもって短歌文芸に親しもうとしている。</li> <li>作品に表れている情景や心情を鑑賞し、自分のものの見方、感じ方を豊かにしようとしている。</li> </ul>	○	○	○	授業態度 発問評価 指名音読 発表・報告 学習課題集の提出 成果物の提出 定期考査 リフレクションシート ポートフォリオ
1	こころの帆	<ul style="list-style-type: none"> <li>我が国の伝統文化の一つである俳句の鑑賞のしかたを理解し、近代を代表する俳人の作品を味わう。</li> <li>作品に表れているものの見方や考え方を捉え、内容を解釈する。</li> <li>我が国の言語文化に特徴的な、俳句の表現の技法とその効果について理解する。</li> <li>俳句の形式や表現を進んで理解し、学習の見通しをもって俳句文芸に親しもうとしている。</li> <li>作品に表れている情景や心情を鑑賞し、自分のものの見方、感じ方を豊かにしようとしている。</li> </ul>	○	○	○	授業態度 発問評価 指名音読 発表・報告 学習課題集の提出 感想文の提出 定期考査 リフレクションシート ポートフォリオ
1	〔言語活動〕折句を用いて短歌を作る	<ul style="list-style-type: none"> <li>折句を用いて、感じたことを短歌で表す。</li> <li>我が国の言語文化に特徴的な折句の表現の技法とその効果について理解する。</li> <li>進んで折句の技法と伝統を理解し、学習課題に沿って折句を用いて短歌を創作しようとしている。</li> </ul>	○	○	○	授業態度 発問評価 短歌の提出 リフレクションシート
11	羅生門(芥川龍之介)文学のしるべ	<ul style="list-style-type: none"> <li>下人の行動や心理をもとに場面の展開を捉え、老婆の語る論理が下人の決断に与えた影響を読み取る。</li> <li>小説という文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などを的確に捉える。</li> <li>作品に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈する。</li> <li>作品の成立した背景を踏まえて、内容の解釈を深める。</li> <li>常用漢字を文や文章の中で活用する。</li> <li>語句の量を増やし、語彙を豊かにする。</li> <li>読書の意義と効用を理解する。</li> <li>登場人物の行動や心理を粘り強く読み解き、内容や展開を捉えようとしている。</li> <li>老婆の語る論理を、叙述を基に読み解き、学習課題に沿って、下人がどのように判断したか、説明しようとしている。</li> <li>典拠となった『今昔物語集』の説話と粘り強く読み比べ、作者の工夫をまとめようとしている。</li> </ul>	○	○	○	授業態度 発問評価 指名音読 発表・報告 調査とまとめ 学習課題集の提出 定期考査 リフレクションシート ポートフォリオ
4	唐詩の世界 漢詩のきまり 〔歴史の窓〕	<ul style="list-style-type: none"> <li>表現や技法(押韻や対句)に留意して漢詩を鑑賞し、古代中国の人々が自然や人事に向けた思いを読み取る。</li> <li>作品に表れているものの見方や考え方を捉え、内容を解釈する。</li> <li>作品の歴史的・文化的背景を理解する。</li> <li>漢詩のきまりを理解する。</li> <li>漢詩のきまりを進んで理解し、学習の見通しをもって漢詩を鑑賞しようとしている。</li> <li>粘り強く漢詩を読み比べ、よまれた情景や心情を説明しようとしている。</li> </ul>	○	○	○	授業態度 発問評価 指名音読 調査とまとめ 学習課題集の提出 定期考査 リフレクションシート ポートフォリオ

級	学習項目	学習内容及び評価の観点	a	b	c	評価方法
1	日本の漢詩 漢詩のきまり 〔歴史の窓〕	<ul style="list-style-type: none"> <li>日本の各時代によまれた漢詩を鑑賞し、人への思いがどのように表現されているかを読み取る。</li> <li>作品に表れているものの見方や考え方を捉え、内容を解釈する。</li> <li>作品の歴史的・文化的背景を理解する。</li> <li>漢詩のきまりを理解する。</li> <li>今までの学習を生かして漢詩のきまりを押さえ、よまれた心情を積極的に説明しようとしている。</li> <li>我が国の文化に漢詩が浸透していたことに興味を持ち、中国の文化との関係に理解を深めている。</li> </ul>	○ ○	○ ○	○ ○	授業態度 発問評価 指名音読 学習課題集の提出 定期考査 リフレクションシート ポートフォリオ
8	平家物語 〔古典のしるべ〕 和漢混交文	<ul style="list-style-type: none"> <li>合戦を主題とした文学作品を読み、争いを背景として生まれた思想や人間のありようを知る。</li> <li>軍記物語という文章の種類を踏まえて、内容や展開を的確に捉える。</li> <li>作品に表れている無常観や武士の生き方を捉え、内容を解釈する。</li> <li>語句の量を増やし、語彙を豊かにする。</li> <li>主として敬語について文語のきまりを理解する。</li> <li>「古典のしるべ」と読み合わせて、歴史的な文体の変化について理解する。</li> <li>作品に表れている無常観を粘り強く読み取り、自分の考えを広げたり深めたりしようとしている。</li> <li>文体の歴史的背景を踏まえて本文を読み、学習の見通しをもって表現や描写・文体の特色を評価しようとしている。</li> </ul>	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○	授業態度 発問評価 指名音読 調査とまとめ 学習課題集の提出 定期考査 リフレクションシート ポートフォリオ